株式会社恵那川上屋

恵那栗にこだわり そこに集う人々の喜びを創造する企業

恵那の特産品といえば栗菓子。今回は地元のクリのブランド化に取り組み、全国へ発信している恵那川上屋さんを訪ねたんだナ。

今から54年前の会社立ち上げ当初は地元のクリが少なく、他産地のクリをメインに商品作りをしていたんだって。でも、栗きんとんのような郷土に根付いたお菓子は、地元のクリを使っておいしいお菓子にしたいと考えたんだナ。それで地元生産者と一緒になって、クリの木を育てる土作りから始めたんだよ。その後は恵那栗のブランディングにも積極的に取り組んだんだ。生産者に自信を持ってもらうために、農家が喜ぶ仕組みも考えたんだって。その取り組みが徐々に成果を上げ、クリの品質もどんどん向上したんだ。そこで生まれたのが「超特選恵那栗」なんだナ。恵那のクリは、今では全国への自慢になったんだナ。

生産者に取り入れた仕組みは、会社の中にも生かされているんだよ。菓子職人が自信を持てるよう、職人だけの商品研究所が作られ、お客様の声を直接聞く機会を設けたんだ。職人の成長や新たな商品開発につながっているんだナ。

「農家と従業員、その家族全員が幸せで、働きながら大きな喜びを感じる会社にしたい。恵那のクリを日本だけでなく世界に展開したい」と、社長さんは語ってくれたんだナ。

問　商工課（内線393）

▲屈指の観光地、恵那峡に近い本社と恵那峡店

女性起業家向け セミナーのご案内

キラキラしている女性のあなたへ

プチ創業セミナー

昨年、好評だった「女性のためのプチ創業セミナー」を、今年も開催します。あなたの第一歩を支援します。

第1回　SOZO交流会

仕事のための情報交換やパートナー探しができます。起業したい主婦の方も大歓迎です。

□とき　5月17日㈭　午後1時半～3時
□定員　10人（先着順）
□料金　500円

第2回　SNSの使い方

SNSは多くが無料で使えて集客にも有効です。ぜひこの機会に活用方法を学んでください。

□とき　5月24日㈭　午後1時半～3時
□定員　10人（先着順）
□料金　2000円

第3回　1日完成HPの作り方

ホームページを無料のソフトを使って、簡単に作ってみませんか。

□とき　5月31日㈭　午後1時半～3時
□定員　4人（先着順）
□料金　1万1000円

セミナーの詳細は、こちらのQRコードを読み取ってご覧ください。

講師　岩田　光洋

株式会社タスクール Plus 顧問

年間500回を超えるセミナーを主催。近年、その活動が評価され経済産業省から「創業スクール10選」に選ばれるなど名実ともに実績を持つ。

恵那 くらしビジネス サポートセンター だより
Ena City Life Business Support Center

- 経営・創業相談
- 各種専門家相談
- 就職支援
- 企業の魅力発信
- 移住相談
- 空き家バンク
- 移住のための情報提供
- セミナー・イベントの開催

TEL：0573-26-2266
FAX：0573-26-2269
E-mail：info@enalifebizsupport.jp
恵那市大井町206番地5
（JR恵那駅から200m）

健やかで幸せな暮らしのために

健幸レシピ

たっぷりカラフル野菜とお肉の朝ご飯

えな「たべる」プロジェクト

平成29年度の「エーナ健幸レシピコンテスト」で入賞したレシピです。塩分控えめで、緑黄色野菜とタンパク質がしっかりとれる一品です。

材料　（2人分）

- ●鶏ささみ・・・・2本
- ●しょうゆ・・・・小さじ1
- ●酒・・・・・・・小さじ1
- ●おろしショウガ・小さじ1/2
- ●小麦粉・・・・・小さじ2
- ●ピーマン・・・・1個
- ●赤パプリカ・・・1/4個
- ●黄パプリカ・・・1/4個
- ●小松菜・・・・・2束
- ●麺つゆ・・・・・小さじ2
- ●オリーブ油・・・小さじ2
- ●プチトマト・・・4個

（Ⓐ）

作り方

① 鶏ささみの筋を取り、薄くそぎ切りする。合わせておいたⒶを加え下味を付ける。

② ピーマンとパプリカは細切りにする。小松菜は3㌢の長さに切る。

③ ①に小麦粉をまぶす。

④ フライパンに油を入れ、③を両面がこんがりと焼き色が付くまで焼き、皿に取っておく。

⑤ フライパンに②のピーマンとパプリカを入れて炒める。後から小松菜も入れて炒め、麺つゆを入れる。

⑥ 皿に野菜と鶏ささみを盛りつけ、プチトマトを飾る。

レシピのポイント

鶏ささみは低脂肪で食べやすく、たくさんの緑黄色野菜を油で炒めるので、ビタミンの吸収がよくなります。

野菜136㌘（うち緑黄色野菜136㌘）　塩分　1.1㌘

問　健幸推進課☎26-2111（内線286）

クックパッドでも作り方が見られます。他の料理も載っていますからぜひご覧下さい。

私から輝く恵那

男女共同参画情報コーナー　～話し合い 支え合おうよ わが家も恵那も～

お互いに支え合う ～赤十字奉仕団を通して～

16 vol.

男女共同参画プランでは「家庭生活と地域活動への男女共同参画の促進」を施策の方針に掲げ、多くの人がまちづくりに参加できる雰囲気や場所づくりを行い、地域の中でお互いに支え合う取り組みを支援することとしています。住みよい地域社会づくりに向けた活動を行う「赤十字奉仕団」について、日本赤十字社岐阜県支部恵那市地区委員長で元山岡分団長の鈴木八重子さんに話を伺いました。

山岡分団は女性約70人が登録し、高齢者の見守りを兼ねた配食サービスの宅配や、炊き出し訓練、施設の清掃、花壇の手入れなどを行っています。山岡町では、赤十字奉仕団の他にも、民生委員・児童委員や壮健クラブなど、何らかのボランティアで地域に関わる仕組みがあることから、つながりが深まって、日常的な孤立の防止や、災害時には要支援者の把握に役立っています。

活動は大変なこともありますが、活動を通してできた友達や人との出会いはかけがえのないものです。「今は支える立場でも、いつかは支えてもらう立場」になるかもしれず、これからも続けていかなくてはいけない、大切な取り組みだと感じています。皆さんに活動のお誘いがあったら、できる範囲でいいので、まずは一度参加してみてほしいと願っています。

▲活動を紹介する鈴木八重子さん

赤十字奉仕団＝人道的事業を推進するボランティア団体。
市内に岩村・山岡・明智・上矢作の4分団がある。

□問い合わせ　企画課　TEL 26-2111（内線347）